

# 地域性を生かした営業活動

## 特色ある企業を紹介

静岡県は、東日本と西日本のほぼ真ん中に位置している地域性を生かした営業活動を繰り広げている。加えて静岡県は、全国でも有数の工業地域でもあるため県内には多彩な産業が集まっている。また富士山、三

保の松原といった世界遺産など観光スポットを多く有しており、国内外から大勢の観光客が訪れるほど盛んだ。今特集では、県内でも特色ある企業や製品、営業展開などを紹介する。

が、爪の間が茎の溶液で汚れ、また手や指に触れて実を傷めるとい



開発品でのイチゴ収穫の様子

保持するので、果実を手で触れることなく収穫することができ、点。茎やツタを残したくない場合は、刃の部分が果実に近くなる向きで、果実の根元を力強く切ることができ、果実を傷めず、茎やツタの残りをなく状態での収穫することも可能だ。

また、イチゴだけでなくトマトやサクラン

ボの収穫、果実以外のおか」で「イチゴなどバラのトゲ取りや、細かな剪定作業にも利用できる。同カッターの素材は、高めたシンプルで使いやすい」との評価とともに、「緑の下力持ちの商品で、現場のニーズにしっかり応えている姿勢を受賞した。

## コトコ

# 農家の要望から誕生

## UD賞の『採果リングカッター』

プラスチック・ファスナーの総合メーカーであるコトコ沼津市、

055・922・2101は、静岡県が主催する「2024年グッドデザインしずお

か(主催)静岡県に栽培方法が露地(土耕)の

応募した主にイチゴを収穫するための『採果リングカッター』がユ

ニバーサルデザイン賞(以下UD賞)を受

賞した。利用した高設栽培が普及している。またイチ

が、爪の間が茎の溶液で汚れ、また手や指に触れて実を傷めるとい

てしまつたといった現場の声を耳にし、本格的にカッターの開発に着手しました」とい

そこから3D(3次元)CADでデータ作成し、3Dプリンターで試作を繰り返してシ

ンブルでかつ軽量のコンパクトであることに加

え、従来通りのような原理を応用し、茎を押し

さえて切り、実を保持しながらトレーやカゴ

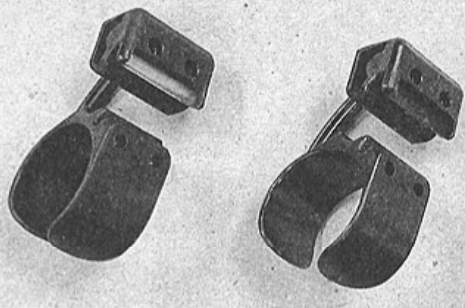
に収穫作業ができることに加え、「利き手

たという土井課長。

らでも使えること、このカッターの特徴は、前述のように利き手

金属刃タイプ

樹脂刃タイプ



金属刃と樹脂刃の2種類がある

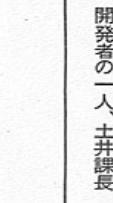
は、前述のように利き手に関する人差し指に嵌め、親指でつまむようにカットすること

ができること。茎やツタを切つて、そのまま

の果実を摘む際の手の動きを研究し、無駄のない動作で効率的に収穫できるような機能性を

の果実を摘む際の手の動きを研究し、無駄のない動作で効率的に収穫できるような機能性を

の果実を摘む際の手の動きを研究し、無駄のない動作で効率的に収穫できるような機能性を



開発者の一人、土井課長